

## はじめに

昨年の県内における交通事故は、死者数が50人と昨年に比べて2人増加しました。特に、高齢者や横断歩道を含む道路横断中の交通死亡事故に歯止めが利かない状況で推移しました。

また、松山南警察署管内の交通事故は、

- ◎ 発生件数 394件（－5件）
- ◎ 死者数 7人（＋2人）
- ◎ 負傷者数 431人（＋5人）

で、2件の正面衝突事故で高齢者3人が亡くなったほか、自転車乗車中の死亡事故が3件発生するなど、死者数が7人（前年比＋2人）と極めて厳しい状況となっております。

このような状況を踏まえ、松山南交通安全協会、松山南安全運転管理者協議会、松山南地区地域交通安全活動推進委員協議会及び松山南警察署が連携し、交通事故分析に基づいた広報啓発や安全教育など効果的な交通安全対策に引き続き取り組むとともに、子供や高齢者、歩行者や自転車利用者を交通事故から守る取組を推進してまいります。

悲惨な交通事故を防ぐには、県民の皆様に交通安全に関する理解と関心を深めていただくことが大切です。この資料が、悲惨な交通事故の根絶に向けた取組みの一助となることを願っております。

令和4年1月

松山南交通安全協会会長	白方 信一
松山南安全運転管理者協議会会長	和泉由紀夫
松山南地区地域交通安全活動推進委員協議会会長	朝村 篤
松山南警察署署長	中矢 英治